

## 伊勢志摩サミット2016開催決定！全国へ広げようサミットの輪！ ご支援のお願い

伊勢志摩サミット三重県民会議は、2016年5月に開催される主要国首脳会議に伴う事業の資金を募るプロジェクトを、一般財団法人ジャパングビング(所在地:東京都千代田区 代表理事:佐藤大吾)の運営する国内最大の寄付型クラウドファンディングプラットフォーム ジャパングビングにて、2015年12月16日(水)より開始いたしました。

～伊勢志摩サミット三重県民会議会長(三重県知事)鈴木英敬氏からのメッセージ～

2016年みえ伊勢志摩サミット誘致推進協議会を中心とする官民一体での誘致活動などが実を結び、平成28年(2016年)5月26日から27日まで、主要国首脳会議(サミット)が三重県・伊勢志摩で開催されることとなりました。サミットという世界最高峰の国際会議の開催は、本県の国際観光地としてのレベルアップだけでなく、地域の総合力の向上につなげる千載一遇のチャンスであり、三重県ならではの美しい自然、豊かな文化・伝統、先端技術などを強かに発信していく必要があります。



また、サミットを一過性に終わらせることなく、開催後の地域の活性化につなげるためにも、子ども・若者、女性、高齢者や障がい者などさまざまな県民が準備段階から事業の企画に携わり、実施して、サミットに参画することが重要です。そのため、「オール三重」で一丸となってサミットを成功させるため、伊勢志摩サミット三重県民会議を中心に、「開催支援」「おもてなし」「明日へつなぐ」「三重の発信」の四つの柱に基づき、サミット開催に向けた全県的な取組を展開してまいりたいと考えています。

今後、受入準備が本格化いたしますので、ぜひとも、伊勢志摩サミット三重県民会議を中心とした取組にご賛同をいただき、協賛、応援や寄附によるご支援につきましてご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 【プロジェクト概要】

URL: <http://japangiving.jp/p/3555>

・ 募集期間: 平成27年12月16日(水)～平成28年2月29日(月)

・ ギフト(寄付のお礼):

500円以上の寄付・・・お名前と寄付金額をHP及び公式記録誌に掲載(希望者のみ)。

2,000円以上の寄付・・・サミット限定ノベルティグッズ3点セット(クリアファイル、ポストカード、ウェットティッシュ)をプレゼント

※ 500円以上、任意の金額での寄付が可能です。

・ 寄付金の使い道・・・伊勢志摩サミット三重県民会議が実施する事業等、クリーンアップ活動や花いっぱいおもてなし運動等のおもてなしの取組など県民の皆さんとともに取り組む事業のほか、国際理解・国際交流プログラム等のサミット後も見据えた明日へつなぐ取組、海外プレスツアーや国内向けPR事業等の情報発信の取組などに充てる予定です。



★「ジャパングビング」とは <http://japangiving.jp/>

ノーベル医学生理学賞を受賞された山中伸弥京都大学教授や、最高齢でエベレスト登頂を達成した三浦雄一郎氏が資金を募った、日本最大のクラウドファンディングサイトで、現在までに、約13万人から14億円の寄付を集める、国内最大の寄付仲介サイトです。英国初7億ポンドを集める世界最大級のクラウドファンディングサイト「JustGiving」の日本版として、2010年3月9日より運営を開始し、2015年1月に団体名を「JapanGiving」と改称し活動しています。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

ジャパングビング事務局 担当: 淵上(ふちがみ)、勝山(かつやま)

TEL: 03-6272-3659 FAX: 03-6272-3835 MAIL: [info@japangiving.jp](mailto:info@japangiving.jp)

## 伊勢志摩サミットとは・・・

サミットとは、日、米、英、仏、独、伊、加、露8か国の首脳並びに欧州理事会議長及び欧州委員会委員長が参加して毎年開催される首脳会議です。（※現在は、露を除く7か国によるG7サミットとして開催）

サミットでは、国際社会が直面する様々な地球規模の課題について、首脳は一つのテーブルを囲みながら、自由闊達な意見交換を通じてコンセンサスを形成し、物事を決定します。そして、その成果が宣言としてまとめられます。グローバル化が進むと世界各国の相互依存関係が進み、物事が起こりかつ展開する速度が速くなり、その影響するところも国境を越えて大きくなりますが、それらに有効に対処するためには、首脳のリーダーシップが必要となります。サミットは、首脳のリーダーシップにより、国際社会が迅速に解決することが求められている問題に効果的に対応してきています。

サミットを開催する国が、開催する年の1月～12月の1年間、サミット議長国となります。サミット議長国は、サミット開催に向けた事前の準備会合や、実際的首脳会合、外相会合、財務会合等の開催のための諸準備及び議事進行を行います。更に、その時々国際情勢を反映して、必要に応じて緊急会合の呼びかけを行うこともあります。

これまで日本は1979年、1986年、1993年、2000年、2008年の5回議長国となっています。（※そして2016年には、6回目の議長国として、三重県伊勢志摩地域でサミットを開催する予定です。）

外務省ホームページより抜粋（※は三重県が追記）



## 伊勢志摩サミットを成功させよう！

サミットは国の行事であり、首脳会議をはじめ、配偶者プログラムやジュニアサミット等の公式プログラムの開催は、国が対応することとなっています。これに対し、伊勢志摩サミット三重県民会議を中心として、サミットが安全・安心に開催されるよう、警備や道路整備等に万全を期すとともに、この機会を千載一遇のチャンスと捉え、次世代の育成を目指す取組、県民参加によるおもてなしの取組、三重の魅力発信の取組など、サミット開催に向けた全県的な取組を展開することにより、地域の総合力向上につなげていきたいと考えています。

### これまでの取り組み

#### ◆ カウントダウンボードの設置 ◆

平成27年11月4日、三重県庁正面玄関へのカウントダウンボード設置を皮切りに、県関係施設、各市町、鉄道主要駅に順次設置しています。

県庁、県議会会議事堂、県関係施設（総合庁舎、博物館等）、各市町庁舎 50台

企業等、県内主要駅 29台

企業の応援事業、すでに設置済みのもの 282台 合計361台

#### ◆ サミット開催200日前イベントの実施 ◆

伊勢志摩サミット開催200日前となる平成27年11月8日、サミット及びサミット参加国への理解を深める機会の創出と歓迎機運の醸成やサミットの認知促進を図るため、サミット開催200日前イベントを開催。

イオンモール東員でカウントダウンボードの除幕式、恵利原早餅つき、みえの国観光大使である吉田沙保里さんのトークショー、各種パネル展示、三重テレビの伊勢志摩サミットご当地検定クイズ、三重県出身のSKE48トークショーなど。

#### ◆ シンボルマーク決定 ◆

シンボルマークの作成は2008年の洞爺湖サミットロゴマーク公募で最優秀作として採用された近藤敦也さんに依頼しました。作者コメント：手を繋ぐ2人で、次世代へのつながりを表現しています。波線は、世界の人々と三重県の人々とのつながりのタスキを表現しています。サミットで培われたあたたかなつながりを次世代へ受け継いでいこうという決意を込めています。

#### ◆ ポスターの展開 ◆

三重県での伊勢志摩サミット開催や県民会議の活動をPRするため、計画的にポスターを展開する予定です。

第1弾：サミット伊勢志摩で開催されることをPRするため、作成。第2弾：県民会議の象徴となるシンボルマーク決定をPRするため、作成。